講義名	自己発見とキャリア開発 B (K60)			授業形態	その他	5じてブリント資料を配布する。			
		開講期・曜日・時限 後期 水町	翟日 2時限		20-54101	ひしてブリンド見行を記がする。			
担当教員	上仲 淳		+>,,1511>,,H		.				
		単位数 2 履修開始年次	1年生 ナンバリング	FYE120]				
題と概要					授業計画				
学部留学生として必要な基礎的かつ総合的な日本語力をつけることを目的とする。 日本語の四技能を総合的に守び、日本語の文章力およびコミュニケーション能力を高める。 アクティブ・ニーングなかがはアウスで駆動な行うことなります。					_	当 引のうちの(水)の1日間(1/2時限)で、原則として、日本語の四技能を総合的	に学習する。各内容	は、以下に示す。(必要に応じて、ポートフォリオ作成)	
アクティブ・ラーニングを心がけたクラス活動を行うことを目指す。					1. オリエンテーション、授業内容説明 よく見る表示や文書などを使って、海子と海字で書くことばを学習する。				
					1. オリエンテーション、授業内容説明 よく見る表示や支着などを守て、漢字と漢字で書くことばを学習する。 予宮問題: 授業開始までに前期の授業で行われた日本語の中でかからない言葉を課べ、また授業で使う言葉で不明な部分はあらかじめ調べておく(120分) 復習内容: 投業実で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に授養内容の理解を深めること(120分) 2. 公共交通機関、レストラン、地図、自動販売機、携帯電話等の自己に関するもの、および、申込書、注文、メール、病院、問診療、天気予報、求人広告等の対人関係の漢字や語彙について学ぶ、漢字や語彙について学ぶ、はて学ぶ				
					いて学り 予習内報	5×四陳闵、レストラン、地図、自動販売機、携帯電話寺の自己に関するもの、の。 6 3:前回の授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその	より、甲込書、注义、 の準備をする(120分)	メール、例が、同診察、大気で報、水人は百寺の対人関係の漢	チャ語薬について子が。漢チャ語薬につ
					復習内報 3.漢語 予習内報	≆:授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に打きのまとめ、漢字クイズ、漢字ゲーム等も行う。 □ 前回の授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はそα	授業内容の理解を深め の準備をする(120分)ること(120分))	
					復習内報 4 . 外表	3:授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に投稿などのカタカナで書く言葉を体系的に覚える(1)。 9:前ののカタカナで書く言葉を体系的に覚える(1)。 9:前回の野学で扱ったプリントを演れる整理・復習し、確認問題がある場合ける6	授業内容の理解を深め の準備をする(120分)	óること(120分) 、	
					復習内容	第一前回の授業で扱ったブリントや資料を整理、復習し、確認問題がある場合はそに : 授業であったブリンドを資料を整理、復習し、確認問題がある場合はそこ のまたのが選集と対した。との場合を予想、経習し、確認問題がある場合はその のまたのが選集と対した。との場合を予想、経習し、確認問題がある場合はその : 授業で取ったブリントや資料を整理、復習し、おからなかったところを中心によ : 授業で取ったブリントや資料を整理、復習し、おからなかったところを中心によ : 前回の授業で扱ったブリントや資料を整理、復習し、おからなかったところを中心に : 接近くのカラカナで書、古葉を依然的に覚える(2)、 ・ 前回の伊業でガリントで対象を理りで観える(2)、 ・ 前回の伊業で投ったブリントや資料を整理、復習し、確認問題がある場合はそに で、「大学で扱ったブリントや資料を整理、復習し、おからなかったころを中心に ・ 「「大学で扱ったブリントや資料を整理、復習し、おからなかったころを中心に ・ 「「大学で扱ったブリントや資料を整理、復習し、おからなかったころを中心を ・ 「「大学で、「大学で、「大学」であり、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、」 ・ 「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、」 ・ 「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、」 ・ 「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、」 ・ 「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、」 ・ 「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、」 ・ 「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、「大学で、	授業内容の理解を深め	うること (120分)	
連目標 学部留学生が、基礎的かつ総合的な日本語力をつけ、日本語の文章力、聴解力、およびコミュニケーション能力を高めることができる。併せて、ポートフォリオが作成できる文字力・語彙力等の日本語力を 高めることができる、学部留学生が、アクティブ・ラーニング等によるクラス活動を通して、総合的な日本語能力を高める必要があることに気づくことができることを目標とする。					予留内報 復習内報 6 . オ・	۶:前側の授業で扱ったブリントや資料を整埋・復省し、確認問題がある場合はそ0 9:授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に指 /マトペ(1)接音語	の準備をする(120分 授業内容の理解を深め) ること(120分)	
高めることができる。学部留学生が、アクティブ・ラーニング等によるクラス活動を通して、総合的な日本語能力を高める必要があることに気づくことができることを目標とする。					復習内?	※:授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に持	授業内容の理解を深め	うること(120分)	
					予習内? 復習内?	「マドベ(?) 護無語 : 前回の伊蒙で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はそこ : 授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、力からなかったところを中心に : 開連いやすり接音や文法などの基本のな間を切り線管をする。 : 前回の伊葉で扱ったブリントや資料を整理・復習し、対からなかったところを中心に : 「授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、力からなかったところを中心に ・ 関東のグラーン:日本ビディン(画)、「カリンな場面や内容に関する場合に ・ 前回の内変で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はそこ ・ は一般の大きない。 ・ は一	の準備をする(120分 授業内容の理解を深め) Dること(120分)	
					多 . 服用 予習内報 復習内報	年:同連いや9り光音や又法などの基本的な両さ取り練音を96。 客:前回の授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はそ6 客:授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に打	の準備をする(120分 授業内容の理解を深め) うること(120分)	
					9.間行 予習内報 復期内	♥取りのパターン:日常生活でよく聞くいろいろな場面や内容に関する表現について 客:前回の授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はそで 8・振業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、かからたかったところよの心にあ	て学習する。 の準備をする(120分 郷学内窓の理解を深め)	
					10.聴 解につい	発表とあ:発音、文法、会話表現、発話表現、即時応答、課題・ポインド・概要理論 1て学ぶ。	解(町、天気予報、多	、通情報、学校、職場、病院、店、人や物の様子、場所・方向・ ・	位置、数字・計算、順序・比較等)の聴
					を を を を で で で で で で で で で で で に で に に に に に に に に に に に に に	1、子心の影響で切ったプリントや眼科を整理・復習し、糖説問題がある場合はその : 評異であるブリントや資料を登録・復覧し、わからなかったところを中心に 自など、日常生活でよく使われ、役に立つ諸僚をトピック中場面ごとに学習する。 : 前回の伊撃で切ったプリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はで : 「授業で切ったプリント・受料を整理・復習し、初からなかったところを中心に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の準備をする(120分 授業内容の理解を深め 短い文や語句、イラ) ること(120分) ・スト等を使って効率よく学ぶ。	
出課題					予習内報 復習内報	3:前回の授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はその 授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に対 3:チン・リビング 料理 場除 洗濯 計画 雷宙 したく 冒い物 食事	の準備をする(120分 授業内容の理解を深め 学校 仕事 パソニ) うること(120分) 1ン メール 関係 あいさつ 休細 音味や形が似ている・く	D返し・組み合わせのことば 音味がた
予習、復習、ワー	クシート等、授業中にその都度指示する。				くさん 予習内容	70名動調等その語彙について学、水虚、計画、电手、ひに、、貝い(40、民季。の止 第:前回の搜葉で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合はそ(第:援業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心にP は紹介、インタビュー、スピーチ、ディスカッション、ディベートや大学生活で覚え	の準備をする(120分)) = 1 Cross Street Ballet Ball	り返り、辿り合わせのことは、意味がた
							授業内谷の埋解を深め えるべき表現(教員と	96こと(120分) の会話、挨拶、依頼、お礼、謝罪など)について実践的に学ぶ。	またプレゼンテーションなどの発表も含
					14. 後期 予習内報	月の授業の総まとめ : 前回までの授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場合に : 搜集で扱ったブリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に 財末デストとフィードバック	はその準備をする(1)	20分)	
					15. 学	7月20年と駅フルフトリーと 開来テストとフィードバット ※:前回までのの授業で扱ったブリントや資料を整理・復習し、確認問題がある場 係:授業で扱わたブリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に打	合はその準備をする(120分)	
					復習内?	写:授業で扱ったプリントや資料を整理・復習し、わからなかったところを中心に持	授業内容の理解を深め	0ること(120分)	
					J I				
題 (レポート	・や小テスト等)に対するフィードバックの方法								
	や小テスト等) に対するフィードバックの方法 ャンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都	度、回答に応じることもある。			授業形態	態(アクティブ・ラーニング)		1	
		度、回答に応じることもある。			授業形態	ア:PBL(課題解決型学習)	-	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認 エ・グループローク	序の要素を教室で行う授業形態)
		度、回答に応じることもある。			授業形態			イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認 エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	序の要素を教室で行う授業形態)
		度、回答に応じることもある。			受業形	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート		エ:グルーブワーク	序の要素を教室で行う授業形態)
		度、回答に応じることもある。				ア: PBL(課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	Ŧ	エ:グルーブワーク	9の要素を教室で行う授業形態)
		度、回答に応じることもある。			卒業認況	ア:PRL(課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:プレゼンテーション	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、キ	・マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都	度、回答に応じることもある。			卒業認況	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、キ		度、回答に応じることもある。			卒業認況	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、キ	・マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都	度、回答に応じることもある。			卒業認況	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、キ	・マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都	度、回答に応じることもある。			卒業認況	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、キ	・マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都	度、回答に応じることもある。			卒業認況	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、キ	・マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都	度、回答に応じることもある。			卒業認況	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、キ	・マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都	度、図答に応じることもある。			卒業認況	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、キ	・マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都	度、図答に応じることもある。			卒業認況	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認。留学生	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を: 学位授与の方針と当該授業科目の関連	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	・マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その都 ・ ・ ・ ・)、授業参加度(50%)等による総合評価を行う。				卒業認。留学生	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の4技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認。留学生	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の4技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	明的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認。留学生	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の4技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認。留学生	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の4技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認 留学生 双方向計	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) を学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の4技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認 留学生 双方向計	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他 (A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) E・学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の 4 技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認 留学生 双方向計	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他 (A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) E・学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の 4 技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な語学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授集、メール、キ 価の基準 関連の提出(50% 関連をしっかりで議 機能をしっかりで議	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認 留学生 双方向計	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他 (A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) E・学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の 4 技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な話学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ 関連の基準 関連の提出(50%	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認 留学生 双方向計	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他 (A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) E・学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の 4 技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な話学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ () () () () () () () () () (マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認 留学生 双方向計	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他 (A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) E・学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の 4 技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	用的かつ基礎的な話学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ () () () () () () () () () (マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認 留学生 双方向! 実務経	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他 (A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) E・学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の 4 技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	目的かつ基礎的な話学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	
授業、メール、 キ (標準) (標準) (標準) (標準) (標準) (標準) (標準) (標準)	マンパスクロス等で対応する、また質問がある場合は、その部 の注意・助言他				卒業認 留学生 双方向! 実務経	ア: PRL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他 (A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) E・学位授与の方針と当該授業科目の関連 を対象とした科目群で、日本語の 4 技能(聞く、話す、読む、書く)について実用	目的かつ基礎的な話学	エ: グループワーク カ: 実習、フィールドワーク	